



怖くても助けるぞ。怖くても頑張るぞ。

「いじめ0の日」である7月3日（金）の6時間目に、「第1回いじめについて考える全校集会」を行いました（新型コロナウイルス感染症対策のため、各教室で実施）。「いじめZEROに向けての誓いの作成」と「いじめZEROチームの立ち上げ」を大きな柱とした1時間でした。この全校集会を受けての感想や意見を、紹介します。

- いじめZEROチームの話聞いて、私は心を動かされました。こういうことを言ってくれる人たちのお手伝いを、精一杯頑張れる人になりたいです。 **3年女子**
- 僕はいじめZEROチームに入って、いじめを少しでもなくしていきたいです。いじめを発見したら、絶対に止めたいです。 **3年男子**
- いじめを受けてつらい思いをしている人や自ら命を絶つ人が、世の中にはたくさんいます。いじめた人は平気になっているけれど、いじめられた人は、心にとても大きな傷を負っています。クラスで話し合ったように、互いに悪口を言わず、相談し合えるような関係を築いていきたいです。 **2年女子**
- 今日はいじめについて考えました。ちょうど昨年、いじめによって同じ市に住んでいる中学生が命を絶ってしまったことに、とてもショックを受けました。この子は誰にも相談できず、これからの未来より死を選んでしまったことを聞き、「なぜ周りの子は助けてあげられなかったのだろう？」と思いました。長森南中から、そして世界からいじめをなくすために、**見て見ぬふりをしない**、悪口を言わない、言わせないようにしたいです。 **2年女子**
- 私にできること・・・それは、**周りにいじめを受けている子がいないかどうかを見ること、いつもと変わった姿の子がいないかどうかに気付いてあげること**だと思います。もし私がいじめを発見したら、**真っ先に助けたい**です。もし私がいじめられたら、先生や両親、信用できる友達に相談したいです。 **2年女子**
- 私が一番最初に頑張りたいことは、**相手を理解し、認めてあげること**です。相手のことを理解できないと、やがて喧嘩になり、いじめにつながると思ったからです。まずは、クラスの仲間一人ひとりをよく知ることから始めようと思います。 **2年女子**
- 自分の誓いは「相手の気持ちになり、相手が嫌かどうかを考えてみてから、行動する」です。「何をしたら嫌だと思うのか」「何を言ったら傷ついてしまうのか」を考えていきます。 **2年男子**
- 「いじめはやってはいけないこと」なんて、みんなが分かっていると思っていました。しかし、それでもやる人がいます。私も「やらないでほしい」なんて簡単に言っているけれど、実際に起こったとしたら、正しい行動をとることができるのか？・・・実は不安です。でも、できなかったら意味がありません。**「怖くても助けるぞ」「怖くても頑張ろう」と**思いました。 **2年女子**
- 「いじめを許さない」「いじめをなくす」ということも大切だけれど、**「温かい言葉を増やす」「温かい行動を増やす」ということも大切**だと思います。 **1年男子**
- 自分が悪く思っていないくても、人によって言葉の受け止め方がそれぞれ違うので、普段から言葉の遣い方に気を付けたいと思います。**仲の良い友達だと、「どんな言葉を遣ってもいい」という錯覚に陥りがちです。**「親しき仲にも礼儀あり」だと思います。 **1年女子**
- 私はいじめを少し甘く見ていました。1年前のできごとが、こんなにもひどいことだとは思いませんでした。クラスの約束でもある「一つひとつの言葉や行動に責任をもつ」ことを頑張っていきたいです。相手のことを考えられるように、絶対に！！ **1年女子**

救えたかもしれない一人の尊い命が、1年前、凄惨ないじめによって奪われてしまいました。二度とこのような過ちを繰り返さないよう、みなさんは『断固たる決意』を固めてくれたと思います。このような思いを、いつまでも忘れてはいけないと思います。

いじめZEROチーム、始動！！

いじめZEROチームは、生徒会長と生徒会笑顔宣言部会が中心となり、全校生徒の有志とともに、いじめ防止に向けての様々な取組を行っていくチームです。「自分たちのことを自分たちで決めていくこと」を自治と言いますが、長森南中からいじめをなくしていくためには、この「自治」が欠かせないものであると思います。誰かに言われてやるのではなく、主体的に取り組んでいく・・・つまり自分事として活動していくことができれば、長森南中からいじめをなくすことにつながっていくのではないのでしょうか。

いじめZEROチームのメンバーを、全校から募集したところ、53名もの仲間が集まりました（内訳は、1年生11名、2年生3名、3年生39名です）。いじめをなくすために、たくさんの仲間が立ち上がってくれ、とても嬉しかったです。追加募集も受け付けますので、希望者は、生徒会長の原くんのところまでお願いします。

1 いじめZEROチームが願う学校の姿

私たちは、長森南中を「みんなが安心して、毎日が楽しみと思えるような学校」にしたいと考えています。そのためには、「いけないことはいけない」という、正義の風が吹く雰囲気をつくらなければなりません。まずは、**「仲間を傷つけることは絶対に許されない」**ということ、全校のみなさんが決意することから始まるのだと思います。

さて、当然のことなのですが、私たち一人ひとり、顔も違えば性格も違います。いや、違って当たり前です。だからこそ、**「そんな個性をもった一人ひとりの違いを、いかに理解し合い、認め合っていけるかどうか」**が大切なのだと思います。校長先生がよくおっしゃっていますが、「どの子もかけがえのない一人ひとり」なのです。

各学級でよさみつけが行われたと思いますが、先生や仲間から、自分のことを認めてもらうことによって、自己肯定感を高めていき、強く優しい人間に成長してもらいたいと思っています。もし、**自分の周りで苦しんでいる子、悲しんでいる子がいたならば、そっと手を差し伸べることができそうなみなさんになってほしい**と願っています。

2 1年間で取り組む「いじめ防止プログラム」について

- ① **「学校いじめZERO宣言」の制定**・・・長森南中からいじめをなくすために、各学級での話し合いを参考にして、新たに制定します。
- ② **「全校のみんなの心の耕し」**・・・各学級で、「いじめられるとどうなるのか」「いじめ側の心はどうなっているのか」などについて、よく考えてもらうことを通して、みなさんの心の成長を図ります。
- ③ **「いじめ防止掲示板の作成」**・・・「いじめ防止ポスター」や「思いやり掲示板」、「いじめZEROチームだより」などを作成し、長森南中全体に、思いやりの心を広げます。
- ④ **「いじめZEROチームによる校内巡視」**・・・昼休みを中心に、校舎やグラウンドなどを巡回して、長森南中の課題を探し、問題提起を行います。もちろん、よさもたくさん発掘したいと考えています。
- ⑤ **「12月の全校集会」に向けて**・・・学級だけでなく、全校で「いじめについて考える機会」を設けたいと思っています。